



地域のお母さんを目指して頑張っています!

民生児童委員 活動紹介



小川哲子さん(総社)

地区の民生児童委員会議



城北地区民生委員児童委員協議会の定例会に出席。この日は、社会福祉協議会から、高齢者の安否確認のための名簿の作成について連絡があったほか、各地区の事例について、報告や検討が行われました。



北小学校春のお花プレゼント



城北地区 小川さんの活動に密着

北小学校が毎年行っている「春のプレゼント活動」に、城北地区の民生児童委員も協力して児童と一緒に地域の一人暮らしの高齢者(75歳以上)の家を訪問し、花と絵手紙をプレゼントしています。

関係機関に相談



地域で困っている人を支援するため、介護や福祉サービスなど、関係機関に相談し、情報収集や情報共有を行っています。この日は、津山市地域包括支援センターへ介護サービスについて相談しました。

こけないからだ体操



高齢者の足腰や筋肉を鍛え、転倒しにくく活動的に行動できる体づくりを目指した運動プログラム「こけないからだ体操」に参加し、地域の人との情報共有などを行っています。

三世代交流



子どもやその親、子育てを終えた世代の3世代が交流し、地域の結びつきを強めるため、子ども会の行事(正月のしめ縄づくりなど)に老人会とともに参加し、交流を深めています。

ケース検討会議



地域で困っている人や福祉サービスを希望する人を支援するため、関係機関との相談や打ち合わせを行っています。この日は、ある高齢者へのお弁当の宅配サービスについてケアマネージャーと協議しました。

電話で相談に乗ることも多いです



これからも地域の縁の下の力持ちとして インタビュー



小川哲子さん

わたしは平成13年から民生児童委員として活動しています。これまで、認知症や近隣トラブル、家族問題、独居高齢者などさまざまな相談を受け、何とかしたいと思い、一生懸命活動してきました。民生児童委員は、その人の助けになりたいと思っていても、その人の家族ではないため、立ち入れない部分もあり、助けたい思いとの狭間で悩むこともありました。しかし、地域の方々がいろいろと協力してくれているので、長い間、民生児童委員を続けることができました。この活動を通じて、地域みんなが笑顔になり、地域が活性化されると信じて、これからも、地域の「縁の下の力持ち」として活動を続けていきたいです。

